

県グリーン製品

石巻から2製品認定

環境に配慮 建設用リサイクル資材

産業廃棄物を独自の技術で建設資材にした石巻市鹿又の砕石販売業・丸興産業(小野寺靖代表取締役)の再生路盤改良材「RC-40MIX」と、同市門脇青葉東の清掃業・志賀建設工業(宮田恒男代表取締役)の建設汚泥改良土「RCソイル」が、県グリーン製品として認定された。認定期間は同製品とも二〇〇七年四月から一〇年三月までの三年間。リサイクル建設資材として業界の注目を集めている。

RC-40MIXは、建れらに新しい砕石を配合物の解体や道路工事に伴した再生路盤材。施工性が高く、道路の下地として使用する。価格は一立方メートル当たり千二百円で、通常の砕石より四割程度安く設定した。丸興産業は〇三年、リサイクルプラントを設置し、コンクリートやアスファルト廃材を二〇四〇程度に砕き、こ

ファルト廃材を原料にした再生路盤材の本格的な生産に乗り出した。RC-40MIXの開発に成功したのは〇五年。廃材を通常の砕石より四割程度安く設定した。丸興産業は〇三年、リサイクルプラントを設置し、コンクリートやアスファルト廃材を二〇四〇程度に砕き、こ

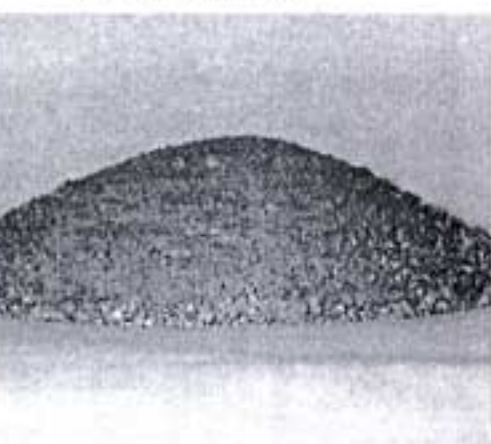
細かく砕きながら、鉄筋や木片などの遺物を除去。同社が採掘した石材を半分ぐらい加えることで、路盤材としての安定性を高めた。小野寺代表取締役は「コンクリートとアスファルトだけのRC-40」という製品もあるが、路盤に凹凸が生じやすい。新たな砕石を加えることで問題を解消し、建設資材のリサイクル推進につなげた」と話す。売上高は倍増しており、同社は

商標登録を申請する計画だ。RCソイルは、建設工事などで発生した汚泥を独自の技術で固く処理した再生土。価格は一立方メートル当たり百円。建設汚泥リサイクル指針が定める「三種処理土」に相当し、主に盛り土に使用する。県建設汚泥再生利用指針が規程する安全性に合致している。

今回認定を受けた県グリーン製品は二製品を含めて計七点。石巻地方からは〇六年まで道路用鉄鋼スラグ「RB砕石」(東北建力)、埋め戻し保護材「エコクッションサンド」(木村土建)、歩道舗装基材「破砕チップ」(石巻地区森林組合)、コンクリート型枠用台板「スギコン」(石巻合板



丸興産業の再生路盤改良材「RC-40MIX」



志賀建設工業の建設汚泥改良土「RCソイル」

県グリーン製品 環境負荷の少ない持続的発展が可能な地域社会の構築を目的に、県が二〇〇六年三月に制定したグリーン購入促進条例に基づいて認定した製品。対象製品は県内で製造あるいは加工された製品の県内

から出た資源を利用した製品で、環境汚染物質などが取り除かれ、資源やエネルギー消費が少ないことが条件。申請は県資源循環推進課が窓口。今年も六月末まで受け付けている。